

良好である。3%の患者に肝臓の再移植がされている。術後の QOL の改善はほぼ全ての生存患者に見られる。

D. 考察

文献的に欧米では、多発性肝嚢胞の治療としてはより侵襲の少ない治療からされているが、肝移植も少なからず施行されている。本邦では、最終的な根治治療としての肝移植は、生体肝移植が主体であることから、かなり限定された症例になると思われる。この研究により、本邦における特異的な移植環境での多発性肝嚢胞の治療方針が明らかになると期待される。

E. 結論

文献的考察により、主に欧米での多発性肝嚢胞の外科治療について概説した。

F. 研究発表

平成 23 年の日本肝臓学会で発表予定。

G. 知的所有権の取得状況

なし

H. 参考文献

1, Drenth JP, Chrispijn M, Nagorney

DM, et al. Medical and surgical treatment options for polycystic liver disease. *Hepatology*. 2010;52:2223-30.

2, Aussilhou B, Douflé G, Hubert C, et al. Extended liver resection for polycystic liver disease can challenge liver transplantation. *Ann Surg*. 2010;252:735-43.

3, Schnelldorfer T, Torres VE, Zakaria S, et al. Polycystic liver disease: a critical appraisal of hepatic resection, cyst fenestration, and liver transplantation. *Ann Surg*. 2009;250:112-8.

4, Tan YM, Ooi LL. Highly symptomatic adult polycystic liver disease: options and results of surgical management. *ANZ J Surg*. 2004;74:653-7.

